



実践発表では、読書推進活動やあいさつ運動について、1年間の取り組みが報告されました

皆で子どもを支えよう

教振運動報告会で推進誓う

家庭や地域の教育力の向上を願い、16年度の村教育振興運動実践報告会が2月22日、役場を会場に開かれました。報告会には教育関係者や父母ら約80人が出席。教育委員会表彰や活躍した児童・生徒の紹介、堀内小と黒崎小の1年間の活動が発表され、家庭や学校、地域ぐるみで子どもを支え育てる教育環境の充実を誓いました。

読書やあいさつ運動テーマに

開会式では、村教育振興運動推進委員会の森田幸一委員長が「この報告会は、それぞれの実践区で、読書運動やあいさつ運動を通して豊かな心を養おう——を共通テーマに、1年間活動した成果や課題を発表し合い、今後に生かすことを目的としています。家庭、学校、地域、行政がさらに連携を深め、明日を担う子どもたちのために、教育振興運動を進めましょう」とあ

いさつ。

続いて、村教育委員会表彰が行われ、道合多喜夫教育委員長が、スポーツで活躍した5人に表彰状を手渡しました。

また、県や久慈地区での山火事や交通安全コンクール、絵画や作文コンクール、各種スポーツ部門では、走幅跳びや100メートル走、野球、バドミントン、ソフトテニスなどの大会で活躍した7団体、28個



スクリーンでの実践発表も行われました

人が紹介され、深渡宏村長と熊谷聡村議会議長がそれぞれの頑張りをたたえました。